

開講専攻	授業科目	担当教員	必修 選択 の別	単位数
看護学 ----- 4セメスター 金・2	小児看護方法論 (4セメスター開講)	塩飽 仁	必修	2
授業題目	子どもを看護する原理と方法論			
授業科目の目的・概要及び到達目標等				
<p>疾病や障害を持つ子どもと健康な子どもに共通した日常生活の援助方法について具体的に学びます。 また、子どもの quality of life ; QOL を支援する原理となる子どもの権利条約について学び、演習を通して子どもの人権擁護の具体的方法について学習します。 これらの学習に基づき、疾病や障害を持つ子どもに必要な看護援助について理解します。</p>				
授業計画				
<p>第1回 小児保健：小児保健の動向と行政による保健医療対策 第2回 日常生活の援助1：子どもの養育と保育 第3回 日常生活の援助2：食生活の援助 第4回 日常生活の援助3：排泄の援助 第5回 日常生活の援助4：睡眠，衣生活，清潔の援助 第6回 日常生活の援助5：日光浴・運動，遊びの援助 第7回 子どものQOL1：子どもの権利条約と小児看護の理念 第8回 子どものQOL2：アドボカシー演習1 第9回 子どものQOL3：アドボカシー演習2 第10回 子どものQOL4：インフォームド・アセント 第11回 子どものQOL5：プリパレーション 第12回 小児臨床看護概論1：小児臨床看護の特徴 第13回 小児臨床看護概論2：健康障害が子どもにおよぼす影響 第14回 小児臨床看護概論3：健康障害が子どもの同胞と家族におよぼす影響 第15回 試験</p>				
成績評価の方法及び基準				
<p>この授業は4および5セメスターにわたっておこなうもので、これらをあわせて2単位となる。 4セメスター終了時に前半の筆記試験を、5セメスター終了時に後半の筆記試験を行って、これらをあわせて筆記試験評価とする。 最終的な成績評価は、出席，レポート，筆記試験をもとに総合的に行う。 (出席点は15%，レポート+筆記試験は85%とする) 正当な理由がなく講義の4分の1以上欠席した場合は筆記試験の受験資格を認めない。</p>				
教科書・参考書				
<p>教科書 1) 奈良間美保ほか：系統看護学講座 専門22 小児看護学 [1], 医学書院，2003 2) 奈良間美保ほか：系統看護学講座 専門23 小児看護学 [2], 医学書院，2003</p>				